

「子供を笑顔にするプロジェクト」WBC体験について

この度、「子供を笑顔にするプロジェクト」において、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）体験として、都内の児童・生徒が試合観戦、試合前セレモニーへの参加、日本代表選手との交流等を行いました。

1 学校観戦

都内の小中高等学校、特別支援学校の児童・生徒（115校、約11,000人）が、3月9日～13日に東京ドームで開催された海外チーム（オーストラリア、韓国、チェコ、中国）の試合を観戦

2 試合前セレモニー参加

3月9日昼及び10日昼の試合前セレモニーに都内の小学校の児童（計89人）が参加



参加チームの国旗や大会旗をグラウンドに展開



両チームの先発メンバーの入場をエスコート



監督に勝利の願いを込めた千羽鶴を贈呈

（上記3つの写真提供は読売新聞社）

3 都内学校の児童・生徒から選手への応援メッセージ

都内の児童・生徒から2,600を超える応募

14日の日本代表選手の練習中に、東京ドームの大型ビジョンに投影。

選手からは、とても励みになる、優勝していい報告ができるように頑張る、とのコメントをいただきました。



4 日本代表選手との交流

3月14日、東京ドームにおいて、特別支援学校、病院内学級（オンライン接続）の児童・生徒が日本代表選手と交流しました。応援メッセージを直接伝えたほか、プレッシャーに打ち勝つ秘訣など選手に質問を投げ掛け、選手から、周りが何を言っているか気にせず、準備をしっかりすることだけに集中するなどのお話をいただきました。



特別支援学校生徒との交流



病院内学級の児童・生徒とのオンラインでの交流

5 児童・生徒の声

- ・東京ドームでスポーツ観戦するのは初めて。その臨場感に驚いた。
- ・大勢の人の前でグラウンドに立てて、一生の宝物になった。
- ・世界最高峰の選手のお話が聞けて、とても嬉しかった。スポーツの大会に活かしていきたい。